

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名	新しい高性能鋼材と利用技術に関する調査研究小委員会	委員長	本間 宏二	連絡幹事	小西 拓洋
活動予定期間	平成 19 年 5 月 ～ 平成 21 年 4 月 (2 年間)				
活動の目的	新しい高性能鋼材として従来より強度、じん性、溶接性に優れた鋼材の活用について内外にて研究、開発、実用化が進められつつあり、国内では、降伏強度 500MPa 級及び 700MPa 級の溶接構造用圧延鋼材 (BHS500, BHS500W, BHS700W) の提案がなされ、一部の橋梁で高強度と良好な製作性を活かして採用が計画され始めている。しかしながら、このような新鋼材についての設計や製作に関する技術基準類はまだ一般化しておらず、広く活用することができる基盤の整備が望まれる。また、実橋に採用した事例やメリットに関する技術知見も知られていない。そこで、新鋼材に関する設計法、製作基準、設計例などを調査収集し、有用な技術情報として発信することを目的とする。				
前回鋼構造委員会報告後の活動状況	<p>1) 前回鋼構造委員会にて、小委員会設立趣意、委員公募予定を報告。</p> <p>2) 平成 19 年 4 月 20 日までを公募期間として委員募集を実施し、現在のところ委員数 17 名を予定 (委員名簿添付)。</p> <p>3) 第 1 回小委員会開催予定、内容を下記として準備を行った。</p> <p>第 1 回小委員会 平成 19 年 5 月 31 日 (木) 14:00~17:30 土木学会会議室</p> <p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員紹介 2. 小委員会活動方針 3. 活動計画 (質疑, 討議) 4. 話題提供: 高性能鋼の研究、利用の現状と将来 (小西幹事長) 				
今後の活動計画と目標とする成果	<p>今後の活動計画</p> <p>【次回小委員会・WG 開催予定】</p> <p>第 2 回小委員会 平成 19 年 7 月頃予定</p> <p>目標とする成果:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会報告書を作成。 <p>新しい高性能鋼に関する、設計、製作基準に関する調査研究と試設計例の作成、最新技術情報の収集と情報発信を行う</p>				
その他	<p>削除: <input type="text"/></p> <p>削除: <input type="text"/></p>				

新しい高性能鋼材と利用技術に関する調査研究小委員会 名簿(H19.5.28 現在)

	名前	所属	部署
1	委員長 本間宏二	新日本製鐵株式会社	建材開発技術部 橋梁開発技術グループ
2	幹事 長 小西 拓洋	東京工業大学大学院理工学研究科	土木工学専攻 特任助教授
3	市川篤司	(財)鉄道総合技術研究所	
4	保坂鐵矢	(財) 港湾空港建設技術サービスセンター	東京港支所
5	千葉照男	国土交通省 関東地方整備局	東京港湾整備事務所
6	藤原 良憲	鉄道建設・運輸施設整備支援機構	鉄道建設本部 設計技術部
7	白旗弘実	武蔵工業大学	工学部 都市基盤工学科 助教授
8	山口 栄輝	九州工業大学	工学部 建設社会工学科 教授
9	多田 賢	川田工業株式会社	四国工場
10	齋藤 聡	東日本旅客鉄道株式会社	建設工事部 構造技術センター
11	鷹羽新二	高田機工(株)	技術研究所
12	澁谷 敦	株式会社 宮地鐵工所	技術本部 技術研究所 生産技術グループ
13	渡邊 秀貴	(株)横河ブリッジ	橋梁生産本部設計第一部第一課
14	織田博孝	瀧上工業(株)	技術設計グループ
15	田中睦人	新日本製鐵株式会社	厚板営業部
16	藤井 堅	広島大学大学院工学研究科	社会環境システム専攻 助教授
17	慶 甲秀	韓国海洋大學校	建設・環境工学部 副教授